

成人図書室だより

冬号



今年度の成人図書室だよりのテーマは偉人の記念日です。

1月27日はルイス・キャロルの誕生日です。

本名チャールズ・ラトウィジ・ドッドソン。

1832年イギリスの牧師の家に長男として生まれる（十一人姉弟の三番目）。

オックスフォード大学を卒業後、そのまま母校で数学教員となる。数学者としてだけでなく、児童文学作家としても活動しており、『不思議の国のアリス』や『鏡の国のアリス』などを執筆。その他にも詩人・写真家としての一面もあり。独身のまま生涯を大学の寮で暮らした。1898年、肺炎のため死去。



参考資料：『ルイス・キャロル ハンドブック アリスの不思議な世界』より

関連本をご紹介します

『不思議の国のアリス コンプリート・イラストレーションズ テニエルのカラー挿絵全集』

ルイス・キャロル／原作 ジョン・テニエル／絵 楠本 君恵／訳
グラフィック社 2017年

1865年にマクミラン社から初めて出版された『不思議の国のアリス』。

その挿絵はサー・ジョン・テニエルによるペン画を彫刻し白黒で印刷したもので、後に何人かの画家がそのイラストに彩色をしてくれました。テニエルのイラストの繊細な部分を活かしつつ、彩色者による個性をプラスした味わいのある挿絵を物語と共に堪能することができます。また、ルイス自身の描いたアリスのイラストも掲載しています。

大型本です

726.5

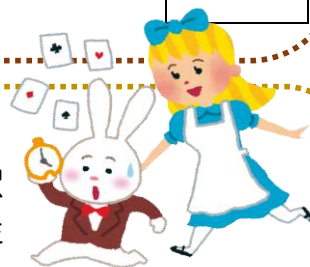
フ

『数の国のルイス・キャロル』

ロビン・ウィルソン／著 岩谷 宏／訳
ソフトバンククリエイティブ 2009年

数学者としてのルイス・キャロルはどんな人物だったのか。

自身も数学者である著者が貴重な資料をもとに、ルイスの学生時代や大学での講師として過ごした生涯を絡めながら紹介しています。幾何学・論理学・暗号やパズルなど、難しそうなものから、思わず「なるほど!」と言ってしまふものまで、数学に魅了される1冊です。



930.28

ウ

関連する図書は、他にもございます。

お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。

12月のテーマ展示

めぐり・めぐる



時が経つのは早いもの。数年前とっていた出来事が、10年、20年以上前なんてことも…。本で「あの頃」を振り返りましょう。

『昭和レトロ語辞典』

清野 恵美子／著 講談社 2007年

その時代を象徴するような言葉、流行った言葉、口ずさんでいた言葉、覚えていますか？年代別で昭和の時代に一度は耳にしたことがあるような言葉を紹介しています。あの頃を知っている方にとっては懐かしく、知らなかった方には逆に新鮮に感じる言葉もあるのではないのでしょうか？

814.7

キ

『ミステリーで読む平成時代 1989-2019年』

古橋 信孝／著 平凡社 2024年

バブル崩壊、大きな災害、ウイルスの脅威など…平成の時代におこった様々な出来事や環境はミステリー作品の中でどのように描かれてきたのでしょうか。6つのテーマに分けて、東野圭吾の『幻夜』、米澤穂信の『氷菓』、貴志祐介の『硝子のハンマー』などのミステリー作品の内容と背景を読み解いていく1冊です。

新書です

910

フル



読書の記録



日付	書名	著者名	メモ



1月のテーマ展示

“笑って”迎える巳年



新年の「読み初め」はぜひ図書館で！
今年巳年。蛇に関する本や、縁起のいい本も集めてみました。

『世界の美しいヘビ Strange colored SERPENTS』

海老沼 剛／著 グラフィック社 2018年

ヘビって何色だと思いますか？緑、赤、青、黒…模様も様々。この写真集には今まで見たこともないような鮮やかで美しく芸術的なヘビの写真がたくさん、希少種も含め全100種を掲載しています。眺めているだけでも楽しめる1冊です。

「体色さくいん」もあるので、好きな色からヘビを探すこともできます。

487.9
工

『えんぎもんフェルト 羊毛でつくるお守りと郷土玩具 55 作品』

緒方 伶香／著 誠文堂新光社 2018年

お守りや厄除けなど、日本にはたくさんの縁起物があります。十二支、だるま、赤物…また地域によつての縁起物や郷土玩具も多く存在します。

専用の針で羊毛フェルトをつつくと可愛い縁起物のマスコットを作ることができます。2025年が良い年になるように、縁起物を手作りしてみるのはいかがですか？

594.9
オ

年末年始のお知らせ

京都市中央図書館は令和6年12月29日～令和7年1月4日まで休館いたします。
年内最終日12月28日は17時で閉館となりますのでご注意ください。

年末年始の休館中も返却ポストはご利用いただけますが、可能な限り休館明け（1月5日以降）にお返しいただくよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

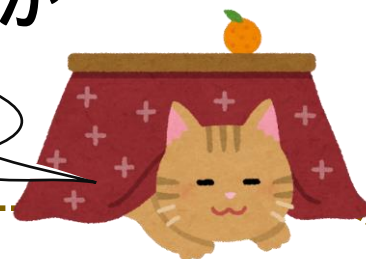


2月のテーマ展示

あったか ぽっかぽか

毎日寒い日が続きます。

この時期にぴったりな「あったか〜い」本を集めました。



『選び放題!鍋レシピ 250』

激ウマおうち鍋の決定版! 食べたい鍋が必ず見つかる!』

主婦の友社/編 主婦の友社 2020年

冬のあったか〜い料理の定番といえば鍋! 美味しいけど味や具材がマンネリ化しちゃう…
といったお悩みも解決できるかもしれない1冊です。

豆乳鍋、カレー鍋、ちゃんこ鍋、寄せ鍋など、その日の気分や材料から探すこともできるので、鍋を作る日が楽しみになります。ぜひ自分好みの鍋を見つけてみてください。

596

工

『木曜日にはココアを』

青山 美智子/著 宝島社 2019年

カフェで働く青年と木曜日の午後3時頃に来店する女性ココアさんとのやりとりから始まる12の色とりどりの物語です。東京とシドニーを舞台に様々な境遇の人物が登場します。それぞれの人生を送りながらも人との繋がりや誰かを想う気持ちに、心がポッとあたたかくなります。

文庫本です

J

アオ

テーマ図書は、カウンター横の書棚に多数展示しています。

お探しの図書が見当たらない場合は、お気軽に窓口までおたずねください。

(*)本の背の下部分に大型本は黄色、文庫本はB、新書本はSのシールが貼ってあります。

京都市中央図書館

〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9番地の2

☎075(802)3133

■開館時間

平日：9時30分~20時まで(児童図書室は17時まで)

土日祝日：9時30分~17時まで

(児童図書室は17時まで)

■休館日

毎週火曜日、年末年始(令和6年12月29日~令和7年1月4日)

